

# 「なんで」と「どのように」

平成29年11月25日(土) 保護者や教員、一般町民を対象に、家庭教育講座を開催し、約50名が参加しました。

講師の石谷二美枝氏(株式会社コーチングプラス代表取締役)から「子どものやる気を引き出す魔法の質問」と題してご講演をいただき、「子どもの話の上手な聴き方」や「子どものやる気を引き出す質問の仕方」についてお話をいただきました。

石谷氏のお話の中から一部をご紹介しますので、ご家庭でお子さんとの接し方等の参考としてください。



## <子どもの話の上手な聴き方>

○あなたは相手がどんな態度だと話したくなりますか？

(右に記入してみてください。)

→ ・笑顔 ・優しそう ・頷く ・興味を持っている  
と答える方が多くいました。

○最近、片手にスマホを持っている親と子の会話をよく目にします。

→ 耳では話を聞いているが、子どもは「話を聴いてくれている」と感じるでしょうか。

⇒ **大人がされて嬉しいこと・嫌なことは、子どもにとっても嬉しいこと・嫌なことです。**



## <子どものやる気を引き出す質問の仕方>

○あなたが「やろうやろうとされていて」していないことは何ですか？

(下に記入してみてください。)

→ ・ダイエット ・部屋の片付け ・筋トレと答える方が多くいました。

※「やろうやろうとされていて」していない(できていない)理由を尋ねるときには



「なんでしていないの？」

→ 「だって～」という言い訳や理由を述べさせる尋問となる。

(例) なんで勉強しないの？

→ だって、ゲームしたいもん…。  
→ めんどくさいから…。

「どのようにしたらできる？」

→ 「今度から～」という解決策を自ら考えさせる効果的な質問となる。

(例) どうしたら勉強できる？

→ まずは整理整頓してみようかな…。  
→ 宿題やろうかな…。



⇒ **質問の仕方ひとつで、前向きに、一步を踏み出すきっかけとなります。**

○教育委員会「ブログ」随時更新中○

URL: <http://blog.canpan.info/numakyoui/>

教育委員会事業を掲載しております。こちらもご覧下さい。

